

美祢社会復帰促進センター

「再誕の丘」だより

「再誕の丘」とは

平成16年12月15日に、南野知恵子法務大臣(当時)が、美祢テクノパークを視察されました。

その折、かつて立ち並んでいた炭坑住宅が、美祢社会復帰促進センターに生まれ変わることに因み、「この施設で受刑者が社会復帰するために生まれ変わることを心から願ってこの丘を「再誕の丘」と命名されたものです。



目次：

センター長年頭御挨拶 1

総括業務責任者年頭御挨拶 2

第27回山口矯正展に参加しました！

再誕の丘フラワードプロジェクト 3

豊田前体育館清掃

「美祢Marketプロジェクト」のご紹介 4

美祢社会復帰促進センター長 年頭御挨拶



新年明けましておめでとうございます。

平素から、当センターの運営について御支援と御理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も、コロナ禍は収束することなく、感染症対策に気が抜けない日々を送りました。ただ、今後も新型コロナウイルス感染症が完全に収束するとは考えにくく、ウィズコロナの時代に入っていくものと思われまます。

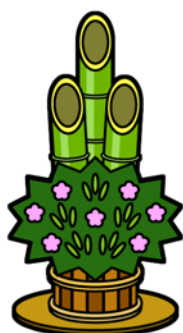
そんな中、当センターにおいても、できることについては感染対策を講じながら始めて行こう！と意気込んでいます。

昨年11月には、「みねマーケットプロジェクト」というイベントを行い、センター生が考案した9種類のパンを、地域の皆様に販売させていただきました。これについては、センター生がパンの中身を考えただけでなく、パンに名前をつけたり、パンに込められた思いをポップに記載したり、実際に調理や販売にも携わったりしました。美祢市長をはじめ、多くの地域の皆様にお越しいただき、おかげをもちまして、センター生の思いが一杯に詰まったパンは完売しました。今年も実施を予定していますので、来場をお待ちしています。そして、今年こそは、しばらく中止となっていた「豊田前愛のまごころ矯正展」を実施したいと考えております。

また、当センターは「再誕の丘フラワープロジェクト」という取組の中で、センター前の敷地を花壇にして、季節の花を植えています。その際にも、畝づくりや花の栽培方法をお教えいただくなど、地域の方々に多大な御協力をいただいています。この場を借りて厚く御礼申し上げます。センター前の美化により、地域の皆様のお気持ちが少しでも温かくなれば幸いです。

長期にわたるコロナ禍により、人と人とのつながりが希薄になりつつあるこのごろですが、新しい年は、地域の皆様とのつながりを大切にしていきたいと考えております。

今年が、皆様にとって幸多い一年になりますよう、そして今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



総括業務責任者 年頭御挨拶



あけましておめでとうございます。

澄んだお正月の晴れた朝、大気ははりつめて寒い寒いのですが、陽の光には明らかに春が感じられます。晩秋までに樹木はすっかり落葉し、地面は冷たく凍え、一切は動きを止めたかのようにでしたが、新年を迎えますと、ものみな少しずつ動き始めます。あらためて、お正月を春とよんだ古人の感性は素晴らしいと感じます。

都会で暮らしていると、自然に従った四季の流れが身近ではないものですから、どうしてもお正月は年中行事の1つくらいにしか感じられなくなります。美祢に赴任後8年目になりますが、この地で暮らしていることを心からありがたく感じております。

さて、今年はいよいよ還暦になります。若年の頃、多くの若者と同様に、年譜がなんとなく気になっていました。誰が何歳で何をしたというのが、なんとなく視界の隅にあり、つい自分と比べてしまいます。「自分にはまだ猶予があるぞ」、「この若さですごい」等と、傑出した天才たちと比べられる道理もないのに、同じ一生という視点だけで比べていました。いずれは到達できる頂上と前方に仰いでいたものが、その裾野をのろのろと横切り、ふと気づくと、かの頂上は振り向いてみる後方へと移っており、このとき誰もがいたずらに馬齢を重ねたことを思い知ります。でも、天才たちも、きっとそのように目指し、到達できずに悔しかった誰か先人を各々の胸中に秘めていたに違いなく、そのように考えますと歴史を懐かしく感じます。今後、わたくし自身、どのような仕事に巡り合うのか、当地で仕事を続けられるのか、わかりませんが、みなさまへの感謝を胸にこれからも精進してまいります。



本年がみなさまの幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。

第27回山口矯正展に参加しました！

令和4年11月5日～同年11月6日の2日間、防府市武道場で「第27回山口矯正展」が3年ぶりに開催されました。当センターからも出店し、「プリズンパン」・「猫ちぐら」等の販売を行った他、「大理石のワークショップ」を開きました。当日は大勢の方々にお越しいただき、矯正展は大盛況でした！

当センターの「豊田前愛のまごころ矯正展」は、ここ数年中止が続いておりますが、来年こそ開催することができるように願いつつ、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



再誕の丘フラワープロジェクト

令和4年11月19日、「再誕の丘フラワープロジェクト」として、地域住民の方々と当センター職員が参加し、花の苗植えを行いました。また同日は市民総社会参加活動の日でもあり、歩道等の落ち葉清掃も行いました。「再誕の丘フラワープロジェクト」とは、「地域との共生」及び「開かれた矯正」の具体的な活動として、当センター、地域住民の皆様、美祢市が協働して、当センター周辺の環境整備を行いつつ、この場所を訪れる方々の憩いの場となるようセンター周辺に草木を植栽することを目的としたプロジェクトです。

今回もたくさんの方のご参加により、再誕の丘花壇が綺麗に整備されました。皆様のご協力に心より御礼申し上げます。



豊田前体育館清掃

令和4年11月26日、地域有志の皆様と公民館職員の方々、当センター職員の共同作業により、豊田前体育館（旧豊田前中学校体育館）と校舎周辺の清掃活動を行いました。例年様々なイベントや活動でこの体育館や運動場にはお世話になっており、当センターにおいても、クラブ活動で毎週のように使用させていただいておりました。昨今はコロナ禍の影響によりクラブ活動は中止の状態が続いておりますが、日頃からの感謝と活動再開への期待を込めて、今年も一生懸命掃除しました！夏祭りやソフトボール大会等の地域行事も、中止や規模縮小が続いておりますが、来年こそは例年どおりに開催できることを願っています！



みねMarketプロジェクトの ご紹介



「美祢Marketプロジェクト」とは、当センターにおける特徴的な取組みの一つであり、センター生に対する社会復帰支援の一環として、「お客様が喜び、売れる商品を作る・売る」ことを命題とし、地域と当センターの連携により、センター生に商品の企画・生産・加工・接客・販売等といった一連のマーケティングを体験させるプロジェクトです。

11月18日、この「美祢Marketプロジェクト」における、パンの製造・販売がありました。当日は、センター生がレシピを考案し製造したパンを、センター生が制作したポップや値札でレイアウトした売り場（当センター内外来食堂）にて販売した結果、大勢の地域住民の皆様にご来場いただき、大盛況のうちに約1時間の販売時間が終了しました。今回の皆様のご協力に感謝を申し上げますとともに、当プロジェクトを今後ともご愛顧いただけますよう、宜しくお願い申し上げます。



国民に理解され、支えられる刑務所へ

編集・発行

美祢社会復帰促進センター

<http://www.mine-center.go.jp/>

お問い合わせ先

〒750-0693

山口県美祢市豊田前町麻生下10番地

TEL: 0837 (57) 5131

FAX: 0837 (57) 5161